

# 第 20 回 全国農林水産物直売サミットにおいて集約した提言書

## 未来へつなげる直売活動 ～直売所の持続と挑戦～

令和5年12月  
全国農産物直売ネットワーク

第 20 回全国農林水産物直売サミットにあたり、主催者・共催者の全国農産物直売ネットワークと（一財）都市農山漁村交流活性化機構は、サミット参加者の意見を結集し、課題解決や情報交換において今後進めるべき事項とともに、関係者への提言事項を取りまとめた。

これは、平成 17 年に、農産物直売所の課題解決と情報交換をともに進める場として、地域農業の振興と 6 次産業化など地域づくりに意欲ある者が集まって開始した、全国農林水産物直売サミットが 20 回の節目に到達したことによる。

また、折しも、政府では食料・農業・農村基本法の改正の検討がされていることで、ここで原点に立ち返り、とり巻く環境変化の中で直売所の課題を見つめ直し、国民の方々とともに関係機関のご理解・ご支援をいただき、ともに進んでいこうとの決意からでもある。

農産物直売所は、地場産の新鮮な農林水産物を生産者が直に提供・販売する場として、地産地消の取り組みの代表的な方法として成立した。その人気から道の駅など施設内テナントとして入る形態も現れ、一般の方の認知度も上がり発展してきた。現在に至るまで、地域の生産者が出荷者として運営に積極的に関わり続けることで、新鮮さ、地域性、旬、安心感、値ごろ感などを提供し続けてきた。この地産地消をベースとし、お客様の期待との接点にあり続けようとする活動が、農山漁村地域の活性化の取り組みに刺激を与え、同じような活動に取り組む仲間の絆を形成してきた。

この日々の活動を通じ、中山間地域での農産物直売所では特に、地域の小規模生産者を含めた多様な担い手と地域農業を守るだけでなく、地域の方々の拠り所、高齢者の生きがいの提供など、広く「地域を守る」役割を果たしてきた。

また、都市近郊や平場の直売所では、農業に疎遠になりがちな都市住民の方々に、農業を身近に感じ「食べ物の価値」を自分事として理解できる場となるよう心掛けつつ、同時にこのことが、農業への新規参入者を呼び起こす場として機能してきた。

私たちは、これまでの長い取り組みと情報交換の中で培ったノウハウや知見が、これからも地域の農業、ひいては日本農業全体として、価値を持ち続けると確信する。

今や、地場産物流通の砦として直売所間連携による地産地消の物流ネットワークの形成や、農村地域における拠点として、農村 RMO など地域づくりの中への参画が期待されている。ここでも私たちが守ってきた地域の多様な農業と多様な担い手の確保・育成を基本として、地域との共存を果たすため、お客様の期待に寄り添えるよう学び、考え続けていくことに変わりはない。

農村部の人口減少と農業生産者の高齢化は著しいことに加え、気候変動の激化等の環境問題、消費者志向の変化など、直売所を取り巻く環境変化への対応に日々さらされているところである。しかしながら、私たちの取り組んできたこと、私たちの持つノウハウは、これからも農山漁村の社会で必ず意味を持ち続けると信じているところである。

以上の認識に基づき、われわれ直売所の経営・運営に関係する者としては、

- ・直売所の持つ役割がこれからも重要であり、生産者を大事にする姿勢を保持していくこと
- ・直売所に出荷された農林水産物を売り切るため、これからも知識の研鑽に努めること
- ・直売所のスタッフがより活動的に働ける職場となるよう、職場づくりに研鑽すること
- ・直売サミットの今後の情報交換のテーマとして、手数料問題や価格設定、出荷者協議会との関係、農村 RMO など農村の維持活動への参画など、今日的な課題への知見の深化に努めていくこと

を確認した。

またこの機会に、以下の点について、関係機関への提言を行うこととした。

### 【 国への要望 】

- ・食料・農業・農村基本法の議論では、地産地消の取り組みとともに、多面的に地域と地域農業を守ってきた直売所の果たしている役割が、我が国の農業・農村の持続と発展のために極めて重要であることをしっかり認識し、位置づけを明確にしていきたい。
- ・直売所は、地場産の新鮮な農林水産物とその加工品の提供を通じて、生産者と多様なお客様（消費者や実需者）をつなぎ、地域の方々が楽しく集い、元気をもらえる地域の拠点である。提供する農林水産物は地域の生産者とのつながりが不可欠で、「生産者の思いを消費者へ伝える、日々繰り返される販売活動」は、多様な農林水産物の販路の提供だけでなく、国民への農業等に対する理解醸成機能を果たしている。このことを政策の中でも強く評価していきたい。

### 【 国、地方自治体など関係機関への共通の要望 】

- ・人口減少・農業生産者の高齢化が進む中山間地域にとって、直売所の維持は、今後特に重要である。このため、直売所を中心として、地産地消の推進および加工・循環型農業等の多角的事業の取り組みや、直売所間のネットワーク構築など、持続可能な中山間の直売所の在り方を支援していきたい。
- ・また、農村 RMO など農村の地域づくりにおいて、地域の拠り所として機能してきた既存の直売所とそこで働く者の持つノウハウについて、地域の事情等に沿って活用・発揮できるところは連携して進めていきたい。
- ・道の駅など公共施設の管理者として指定管理者等が選定される場合、地域の生産者とのつながりに裏打ちされた商品を販売できる「直売所」であってはじめて、利用者が地域の姿に接することができることを十分認識し、選定に慎重を期していきたい。

以上